

自然で遊ぼう

めだまっちを探せ

ねらい

見えないと思っていたものや、気にとめなかったものが、
見方を変えると見えてくることを知る。

時間	30分	人数	2～20人	季節	いつでも可
場所	野外（どこでも）	用具	目玉シールは白紙（又は白いシール用紙）を直径6cm程度の円に切り、中に目玉を描き、裏面に両面テープをつけて作ります		

1

この場所にはどんな生き物がいると思うか想像してもらい、
何人かに具体的に聞いてみます。
今言ってもらったもの以外にも、たくさんの友だちがいることを伝えます。

2

あらかじめ見つけておいた友だちに目玉シールを貼って紹介します。

3

さぁみんなも探してみよう、と言って時間と範囲を決めてスタートします。

4

指導者は一人ひとりの様子を伺いながら、
各自が見つけた友だちにあいさつして回ります。
「目を細めてみる」「角度を変えてみる」など、アドバイスしてあげましょう。

5

全員で各々見つけた友だちに会いにいきます。

6

友だち探しの感想を聞きましょう。

7

「みんなの友だちはとても恥ずかしがり屋なので、シールを貼っておくと他の人にも見られて困ってしまいます。それぞれの友だちにお別れを言って、シールを剥がしてきましょう。と言って、最後にシールを回収します。

Point ポイント

まどめの感想を聞く時は「見つけるのは大変だった？」
「出会ったきっかけは？」「他にどんな友だちが見つかった？」
などを具体的に聞いてあげるとよいでしょう。
見つけられず、見えないという子どもがいたら
まず1つ一緒に見つけてあげましょう。
発表する時は画用紙に吹きだしを書いて切り取ったものを使って、
友だちが話しているように紹介する方法も楽しいでしょう。